

「水の循環」を担う下水道

時代の変化とともに、私たちの生活は年々豊かになってきました。しかし、生活水準が向上する一方で、家庭や事業所などで使用した水（汚水）が河川や海を汚し、自然環境を悪化させてきました。河川や海の自然浄化能力により、多少の汚れはきれいになりますが、今では自然が持つ浄化能力だけでは追いつかない状況です。そこで、汚水を集めて処理し、きれいな水に戻すために必要な設備が「下水道」です。



下水道の目的は3つ

日本の下水道事業は、当初、雨水および汚水を排除することを目的として事業を開始しました。その後、公共用水域の水質保全が目的に追加され、「浸水防除」「公衆衛生の向上」「公共用水域の水質保全」の3つの目的を中心に事業が実施されています。下水道は、生命や財産を守るとともに、自然を守り潤いのある生活を行うためになくはならない施設です。

① 浸水防除

都市部では、急速な発展により緑地や農地、空き地が減少し、雨水が地面に染み込む量が減っています。つまり、地表に流れる雨水の量が一時的に増加し、浸水被害を起こすことがあります。道路や住宅地に降る雨水を速やかに排除することで、浸水被害からま

② 公衆衛生の向上

下水道を整備することによって、家庭や事業所などから排出される汚水は、地中にある下水管に流れるため、

悪臭やハエ、蚊の発生が少なくなり、まちが清潔になります。また、トイレが水洗化できるため、快適な生活ができるようになります。

与謝野町の下水道

河川・阿蘇海の水質保全に貢献

与謝野町の下水道は、家庭や事業所から出る汚水処理を主としており、京都府の「宮津湾流域下水道事業」に接続しています。町では、下水道管やマンホール、公共施設の整備や維持管理を主に行っています。汚水は、流域下水道（※）の幹線管きよを利用して、宮津市にある宮津湾浄化センターに送られ、終末処理されています。

※流域下水道
公共用水域の水質をきれいに保つために、市町村の枠を越えた広域的かつ効率的な下水の排除、処理を目的に設置されるもの。流域下水道は、幹線管きよと終末処理場の基幹施設からなり、都道府県が設置、管理しています。また、これにつながる公共下水道は各市町村が設置、管理しています。

ここ、注目！

下水道は正しく使う

流せるのは汚水のみですー
消化に悪いものを食べると、お腹をこわしますよね？ 下水道も一緒です。下水道に流されると困るものがあります。一人ひとりがマナーを守って上手に使いましょ。

▼詰まりの原因となるもの
台所のごみや使用済みの油、紙おむつ、ハンカチ、水に溶けない紙、タバコ、ガムなど

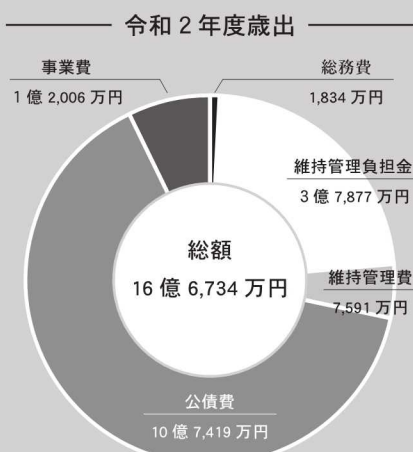
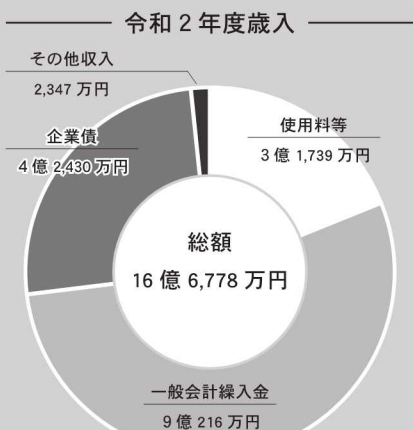
▼悪臭や爆発の原因となるもの
消毒液などの薬品、ペンキ類、石油類など



宮津湾浄化センター（同センター提供）

Point 1 下水道の財政状況は？

下水道事業の歳入（収入）は、一般会計からの繰入金が全体の54%を占めておりその額は9億円あまりです。下水道を使用している方の使用料などは、約3億2,000万円（約20%）です。歳出（支出）では、今までの設備投資に対する企業債の償還に充てる公債費が約10億7,000万円（約64%）、流域下水道維持管理負担金が約3億8,000万円（約23%）となっています。現状では、汚水処理費である維持管理負担金（※）ですら使用料で賄えていない状態となっています。また、令和2年度決算では、維持管理負担金に対して使用料収入が約6,000万円不足しています。



※千円未満を切り捨てしていますので、総額と一致しません

一般会計繰入金

一般会計繰入金には、「基準内繰入」と「基準外繰入」の2つがあります。

■ 基準内繰入とは
国の基準に基づいて繰入するもので、一般会計には、繰出金の額に応じて国の支援があります。

■ 基準外繰入とは
国の基準に基づかないもので、全額が一般会計の負担になります。

特別会計では現金のやり取りのみで予算・決算を行うことから支出に対して収入が不足する部分を基準外繰入として、一般会計から繰り入れています。

※ 維持管理負担金 流域下水道に流した汚水量に応じて、京都府に支払う負担金で、汚水の処理に要した費用。

Point 2 下水道事業の課題

令和2年度決算では、約9700万円の基準外繰入があります。これは、赤字に相当するもので、今後も年々増加する見通しです。

上下水道審議会の答申にもあるように、実際の汚水処理費用である「流域下水道維持管理負担金」ですら下水道使用料収入で賄えていない状況です。まずは、維持管理負担金を使用料収入で賄えるよう下水道使用料の見直しが必要です。

供用開始から間もなく30年が経過し、老朽化が進んでいます。特にマンホールポンプの機械設備の故障が頻発するようになってきます。また、管路などの老朽化調査を行い適切な維持管理を行う必要があります。

上下水道審議会の答申は、町公式ホームページからご覧ください。



町公式HP